

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で私たちのまちを 福祉のまちに …それが社会福祉協議会の目標です。



総合福祉センターからの挑戦状

おやこdeなぞとき

クイズト

楽しみながら福祉を学ぶ

9月16日(土)・17日(日)、総合福祉センターを会場に「おやこDE なぞときクイズト」というイベントを開催し、50世帯159名が参加しました。

例えば、点字や車イスをつかって解くクイズや、回答すると総合福祉センターが避難所にもなることが分かるクイズなど、親子で一緒になぞときをしながら、福祉のことを学びました。

母親と一緒に参加した小学2年生の子は、「お友達と一緒に参加して、



**10月1日から
赤い羽根共同募金運動が
スタート**

「じぶんの町を良くするしくみ」と言われるように、地域での福祉活動に必要な財源です。なお、上記イベントの参加費(1人300円)は全て、赤い羽根共同募金への寄付金としました。

本年度も皆様の「ご理解とご協力をよろしく願います。」

楽しかったです。福祉のことも知ることができて良かったです」と感想を話してくれました。

また、お母さんは、「子どもと一緒に福祉のことを楽しく学べて良かったです。今日のように親子で一緒に参加できるイベントは良いですね」と言われていました。

幸福な老いのヒントは **西牟田校区福祉会 研修会** **“社会参加” と “つながり”**

9月8日(金)、西牟田校区福祉会では「老いを学ぶ～高齢者の心理と社会環境の変化～」をテーマに研修会が開かれました。講師に森永牧子さん(九州大谷短期大学教授)を迎え、幸福な老いを迎えるためのヒントを学びました。



老いで失うのは、

「記憶力」と「想起力」

老いとともに、新しいことを覚えることが困難になります。また、以前の出来事を思い出す能力(想起力)も低下します。

ただし、こうした老化は、個人差が大きいです。それは、身体的・環境的な要因が加わるからです。

**身体機能は衰えるが
 人格や能力は生涯成長する**

一方で、「生涯発達理論」というものが注目されています。

これは、「加齢によって体力・身体機能は衰えるが、人格や能力の面では発達していく」という考え方です。老化によって失うものを精神面や能力の円熟で補いながら、生涯成長を続けていく。そう願う人は多いように思います。

どう生きる？を考え、

「幸福な老い」を目指す

平均寿命が60〜70歳くらいの頃は、長寿そのものが人生最大の幸せでした。しかし、長寿社会の今は、

ここではスッと話せるから楽だ —ふくおか・筑後きょうだい会—



8月19日(土)、ふくおか・筑後きょうだい会の定例会が開催されました。同会は、障害のある人の兄弟姉妹の会です。この日の参加者は5名。和気あいあいとした定例会になりました。

「親亡き後が不安」「親あるうちにそれぞれの自立に向けて動き出すことが大事」「親子関係に悩む」「自分らしい生き方って?」「障害のある兄弟姉妹のお金の管理をどうしていく?」など。

「他ではなかなか話せないことも、ここではスッと話せるから楽だ」「素敵な時間だった」と初参加の方は話されていました。

“できていること”に着目しよう —不登校・ひきこもり家族会サルビアの会—



9月2日(土)、不登校・ひきこもり家族会サルビアの会の定例会で「親子関係を良くするヒント」をテーマにした学習会が開かれました。

講師の福岡県発達障がい者支援センター職員からは、「『みんなと一緒になければならない』『年齢に応じたことができたり前』という考え方が、いつの間にか身につけてしまっているのでは」と問題提起がありました。そして、「できていないことではなくて、できていることに着目することが大切」と話されました。

参加者からも質問や意見もたくさん出て、和気あいあいとした時間になりました。

ひとり親家庭を応援します！

★食料品を無料で配布します！

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方はお気軽にお申込みください。なお、数に限りがあります。

事前申込が必要です！

10月4日(水)12時～10月9日(祝・月)17時の間にQRコードから読みとり申込みください。(期間内でも、定数に達し次第受付終了)



対象 平成13年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日 10月10日(火)・11日(水)16時～18時

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
mail info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布)も
好評実施中！
*詳細はコチラ ⇒⇒⇒



人生の質が問われるようになっていきます。
幸福な老いとは何か。
それは、健康や身体的機能の状況に関わらず、自分自身が望む老後を過ごし、自分らしい最期を迎えることではないでしょうか。
「満足感」「チャレンジ精神」「自己肯定感」「チャレンジ精神」がポイント
「満足感」「チャレンジ精神」「自己肯定感」があると、幸福感は高まります。これらを得るためのポイントが「社会参加」です。

近年、社会参加している高齢者は増加しています。福祉分野だけではなく、趣味のサークル等への参加も大切な社会参加です。やはり、社会とつながり、他の人と交流することです。
自身の人生をより豊かにしていくために、一人ひとりが考えていきたいものですね。
このように、各校区福祉会と社協では、協働して研修会や座談会などの取り組みを実施しています。

介護家族の会
コスモス
介護講座

受講者募集！

ドッグセラピー編

～ワンちゃんの癒しパワーで元気になろう～

- とき 10月15日(日)10:00～11:30
- 講師 ドッグセラピーチーム“フレンドリー”
- 会場 筑後市総合福祉センター
- 対象者 家族を介護している方
- 申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

“困る前からのつながり”が大事！
—社会福祉士を目指す学生が実習に—



8月16日(水)からの約1か月、社会福祉士国家資格を目指す2名の大学生が実習に来られました。実習を終え、次のような感想を言われました。

●永椎奈穂さん(写真左)

「暮らしをより豊かにするため、助け合いの関係が大事だと学びました。将来は住民活動を応援できる社会福祉士になりたいです！」

●松村亜耶さん(写真右)

「“困る前からのつながり”が大事だと学びました。私自身も『助けて』と言える環境に身を置くことを意識したいと感じました」

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる～むの10月の予定

とき 10月13日・27日(金)
13:30～15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

下川 武徳様	〔故〕井上光子様	四ヶ所
岩熊 スズ工様	〔故〕正俊様	北牟田
光永 利幸様	〔故〕洋子様	野町
下川 保昭様	〔故〕シゲカ様	馬間田南
下川 博大様	〔故〕剛様	水田下
角 允夫様	〔故〕スミ子様	前津
田中 純彦様	〔故〕繁續様	江口
園田 美知子様	〔故〕信子様	徳久
平田 謙治様	〔故〕キヌ工様	流
梅野 京子様	〔故〕三角静子様	徳久
緒方 孝通様	〔故〕攻允様	長浜

★ 計 二四五、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

- J A 筑後地区青年部様から梨の寄付がありました。
- 岩熊 スズ工様 (北牟田)、角允夫様 (前津)、匿名様 (2件) から紙オムツの寄付がありました。
- ちっこ子どもフードサポートネットワーク様 (尾島) からレトルトご飯の寄付がありました。
- 匿名様から即席みそ汁の寄付があり

不登校・ひきこもりの家族会

「かじピアの会」に来ませんか?

同じ立場同士なら話せる! 分かい合える!

- と き** 10月7日(土) 14:00 ~ 15:30
- 学習会** 家族向けの学習会
- 会 場** 筑後市総合福祉センター
- 対象者** 不登校やひきこもりの方の家族
- 申込み** 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

【いずれも8月1日〜8月31日まで】

- 匿名様から米の寄付がありました。
- 立山康弘様 (和泉中) から野菜の寄付がありました。
- 匿名様から食材の寄付がありました。
- 平川敏子様 (熊野) から車イスの寄付がありました。
- ユーコーラッキー37筑後店様 (長浜) からお菓子の寄付がありました。
- わかたけ作業所様 (鶴田) から不織布マスクの寄付がありました。
- J A ふくおか八女よらん野様 (前津) から野菜の寄付がありました。
- 株プレシア様 (下北島) からお菓子の寄付がありました。

* ひきこもり家族相談会 *

◎と き: 10月19日(木) 13:00 ~ 16:00
(毎月第3木曜日 13:00 ~ 16:00 実施)

◎ところ: 筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、10月12日(木) 17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
TEL: 52-3969 FAX: 53-6677

ふくおか・筑後きょうだい会に

※障害のある人の兄弟姉妹の会です **入会しませんか?**

次回定例会 (会場 筑後市総合福祉センター)

● 10月15日(日) 14:00 ~ 16:00 (参加費 100円)

問合せ ● ふくおか・筑後きょうだい会

MAIL chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

● 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

事務局通信

たまたま観ていたテレビで、シマフクロウの保護活動を行う夫婦が紹介されていました。

この夫婦は次のように話しました。「シマフクロウだけを保護するのではない。人と生き物の調和を考えながら、環境全体を良くしていくことが必要。その結果として、シマフクロウも保護されていくのです」

そんな話が、様々な示唆に富んでいるように思えて。

数か月前、ヤングケアラー支援の強化のために、市区町村の相談体制を拡充しよう、というニュースがありました。

確かに大事です。しかし、前述の夫婦の言い方を借りれば、次のような感じでは。

「ヤングケアラーだけを支援するのではない。子ども全体のことを考えながら、子どもが豊かに育まれるような地域であることが必要。その結果としてヤングケアラーの支援になっていくのです」

ヤングケアラーや子どもの貧困等、多くの子どもが生きづらさを感じているのだとすれば、条件なしに全肯定してくれる人や場の存在が必要なのかもしれません。